

# [高吐]FOLFOXIRI+アバスチン(ヘパシスマブ)療法

外科 管理番号 RSC053

処方医:

適応症:大腸癌

2週間を1サイクルとして投与を繰り返す

最大12サイクル

※トレフューザーポンプを使用する

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
アバスチン	●													
オキサリプラチン	●													
レボホリナート	●													
イリノテカン	●													
フルオウラシル(持続)	●	●	●											

身長: \_\_\_\_\_ cm 体重: \_\_\_\_\_ kg 体表面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

[投与スケジュール] ( \_\_\_\_\_ クール目)

Day1~3( 月 日 ~ 月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食20mL 10mL以上のシリンジ使用 ポート開通確認	10mL		
生食50mL [穿刺・プライミング用]	1瓶		
生食100mL アバスチン 5mg/kg [投与速度注意※][非炎症] インフュージョンリアクション注意	1瓶		
[内服]ポラミン錠2mg	3錠		
アロキシ点滴静注用バッグ0.75mg デキサート [30分 点滴静注]	1袋 9.9mg		
生食50mL [ルート内洗浄]	1瓶		

生食500mL イリノテカン 165mg/m <sup>2</sup> [90分 点滴静注][炎症性]	1瓶
---	----

プライミング

5%ブドウ糖液50mL [ルート内洗浄]	1瓶		
5%ブドウ糖 500mL レボホリナート 200mg/m <sup>2</sup> [2時間 点滴静注]	1瓶	5%ブドウ糖 250mL オキサリプラチン 85mg/m <sup>2</sup> [2時間 点滴静注][炎症性] アレルギー症状注意 複数回以上 ほぼ数分以内	1瓶
5%ブドウ糖液50mL [ルート内洗浄]	1瓶		
生食100mL フルオウラシル注 3200mg/m <sup>2</sup> [46時間][炎症性]	フルオウラシルと生食適量を 混合し140mLとする	※トレフューザーポンプを使用し全量140mLで調剤	

プライミング

※アバスチン投与時間:初回90分 2回目:60分 3回目以降30分

初回投与時は90分、初回の認容性が良好であれば2回目の投与は60分で行ってもよい。

2回目の投与においても認容性が良好であれば、それ以降の投与は30分で投与することができる。

Day3( 月 日)

薬剤名	投与量
生食20mL 10mL以上のシリンジ使用 ポートフラッシュ	10mL

DAY2( 月 日)~3( 月 日)

薬剤名	投与量	
デカロン錠	8mg	1×朝食後

[適正使用基準]

*1. 口内炎がない
*2. 下痢がない
3. TS-1が投与されていないかまたは投与中止後7日以上経っている
*4. 重症感染症またはその疑いがない
*5. 腸管麻痺・腸閉塞がない
*6. 間質性肺炎または肺線維症がない
*7. 多量の腹水・胸水がない
*8. 黄疸がない
*9. 硫酸アタザナビルを投与されていない
10. PS (Performance Status)が0~2である
11. 機能障害を伴う重度の感覚異常又は知覚不全がない
12. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。
*WBC (/μL) 4000 ≤
Neut (/μL) 1600 ≤
PLT (/μL) 15万 ≤
HGB (/μL) 11.0 ≤
GOT (IU/L) ≤40
GPT (IU/L) ≤35
Tbil (mg/dL) ≤1.2
BUN (mg/dL) ≤20
Cr (mg/dL) ≤1.1
Mg (mEq/L) 1.7~2.5
K (mEq/L) 3.5~5.0
Na (mEq/L) 135~146
Ca (mEq/L) 8.7~11
P (mEq/L) 2.5~4.7
蛋白尿 2+まで投与可

[DLF] フルオロウラシル: 白血球減少・口内炎および下痢
[DLF] イリノテカン 白血球及び下痢(水様便)
[DLF] オキサリプラチン 末梢神経障害
フルオロウラシルの投与量
[今回の投与量] [累積投与量] mg/body mg/body
イリノテカンの投与量
[今回の投与量] [累積投与量] mg/body mg/body
オキサリプラチンの投与量
[今回の投与量] [累積投与量] mg/body mg/body

[肝機能を考慮した投与量の調節]

TBil(mg/dL)	<5.0	5.0 ≤
フルオロウラシル	100%	中止

[肝機能を考慮した投与量の調節]

血清ビリルビン	施設基準の1.5倍~3倍
イリノテカン	20~25%減量

[減量の目安]

好中球数<500、血小板数<5万	イリノテカン、オキサリプラチン、フルオロウラシルを20~25%減量
Grade2以上の神経障害	オキサリプラチンを25%減量
Grade2、3の下痢	イリノテカンを20~25%減量

[DLF以外の重大な副作用]

フルオロウラシル

- ・脱水症状〔激しい下痢等〕
- ・出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎〔激しい腹痛・下痢等〕
- ・ショック、アナフィラキシー様症状〔発疹・チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等〕
- ・白質脳症〔歩行時のふらつき・四肢末端のしびれ感・舌のもつれ感等〕
- ・うつ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症〔疲労感・息苦しさ・むくみ・胸痛・胸部圧迫感等〕
- ・急性腎不全〔むくみ・尿量低下等〕
- ・間質性肺炎〔咳・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
- ・肝機能障害・黄疸、肝不全〔食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等〕
- ・消化管潰瘍〔食欲不振・腹痛・吐血・下血等〕
- ・急性膵炎〔腹痛・腰背痛・発熱・嘔吐・血清アミラーゼ値上昇等〕
- ・意識障害を伴う高アンモニア血症
- ・肝・胆道障害(胆嚢炎、胆管壊死、肝実質障害等) \* 肝動脈内投与時〔腹痛・発熱・黄疸等〕
- ・手足症候群〔手掌・足趾の紅斑・疼痛性発赤腫脹・知覚過敏等〕
- ・臭覚障害、嗅覚脱失(長期投与症例に多い)

## イリノテカン

- ・腸管穿孔、消化管出血、腸閉塞〔腹痛・吐血・下血・腹部膨満感等〕
- ・間質性肺炎〔咳・息切れ・呼吸困難・発熱等〕
- ・ショック、アナフィラキシー様症状〔呼吸困難・血圧低下等〕
- ・肝機能障害、黄疸〔食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等〕
- ・急性腎不全〔むくみ・尿量低下等〕
- ・肺塞栓症、静脈血栓症〔呼吸困難・チアノーゼ等〕
- ・心筋梗塞、狭心症発作〔胸痛・呼吸困難等〕
- ・心室性期外収縮〔脈の乱れ・心電図異常等〕

## オキサリプラチン

- ・ショック、アナフィラキシー症状
- ・間質性肺炎、肺繊維症
- ・骨髄機能抑制
- ・溶血性尿毒症症候群
- ・視野欠損、視野障害、視神経炎、視力低下
- ・血栓塞栓症
- ・心室性不整脈、心筋梗塞
- ・肝静脈閉塞症

## アバスチン

- ・消化管穿孔(突然起こる強い腹痛)
- ・創傷治癒遅延
- ・原発巣からの出血(下血)
- ・肺転移巣からの出血(喀血)
- ・脳転移巣からの出血(突発性の意識障害、神経障害、頭痛、嘔気・嘔吐、めまい)
- ・動脈(胸痛)
- ・動脈(突発性の意識障害、神経症状、嘔気・嘔吐、めまい)
- ・高血圧に伴(頭痛、視力障害、意識障害、悪心・嘔吐)
- ・可逆性後白室脳症症候群
- ・ネフローゼ症候群(蛋白尿)
- ・ショック、アナフィラキシー様症状
- ・好中球減少症
- ・うっ血性心不全(呼吸困難、乏尿、体重の変化)